

京都鉄道博物館 全体概要

[施設概要]

名称	京都鉄道博物館(kyoto railway museum)		
所在地	京都市下京区観喜寺町		
開業日	2016(平成28)年4月29日(金・祝) グランドオープン なお、前日の4月28日(木)に開業式典を実施します(一般のお客様は終日ご入館いただけません)		
建物構成	エントランス、プロムナード、本館、トワイライトプラザ、扇形車庫、旧二条駅舎		
敷地面積	30,016m ²		
延床面積	30,435m ² 転車台、展示運転線の面積を含みます。		
収蔵車両数	53両		

[運営概要]

開館時間	10:00～17:30(入館は閉館時刻の30分前まで) 開館時刻の繰り上げ、閉館時刻の繰り下げを実施する場合があります。 開業日を含め、GW期間中は9:00から開館します。
休館日	毎週水曜日、年末年始(12/30～1/1) 祝日、春休み(3/25～4/7)、夏休み(7/21～8/31)は開館します。

入館料金・SLスチーム号乗車料金

個人のお客様(お一人様/消費税込み)

	一般	大学・高校生	中学・小学生	幼児 (3歳以上)
入館料金	1,200円	1,000円	500円	200円
障がい者入館料金	600円	500円	250円	100円
SLスチーム号	300円		100円	

大学生・高校生(専門学校、短期大学、高専を含みます)、中学生は学生証等の提示をお願いします。
障がい者手帳のご提示のお客様と付添者1名様は「障がい者入館料金」とさせていただきます。

団体のお客様(お一人様/消費税込み)

団体 (20名以上・お一人様)	一般	大学・高校生	中学・小学生	幼児 (3歳以上)
団体入館料金	960円	800円	400円	100円

「団体」は20名様以上です。
ご来館の前日までにお申し込みください。
団体のお申し込み受付開始は2016(平成28)年3月を予定しています。決まり次第ホームページにてお知らせします。
当日の入館対応により、SLスチーム号のご乗車をお断りする場合がございます。
SLスチーム号には団体割引扱いはありません。

京都鉄道博物館 全体概要

[基本的な考え]

[目指す姿]

地域と歩む鉄道文化拠点

京都鉄道博物館は、「鉄道を基軸とした事業活動を通じて地域の活性化に貢献する」というJR西日本グループの基本ミッションに鑑み、地域との共生を目指します。

- お客様に対して、鉄道の総合博物館として、鉄道ファンをはじめ家族で楽しめる学びの場を提供します。
- 地域に対して、学校教育、周辺施設等、地域との連携を図り、地域の活性化に寄与します。
- 社会に対して、鉄道文化活動を通じて、鉄道事業の社会的意義の浸透を図るとともに、鉄道に対する理解の促進やイメージアップを目指します。
- JR西日本グループに対して、鉄道の安全性や技術を伝える場を創出し、お客様と社員のコミュニケーションを通じて、CS向上とES向上に貢献します。



[主な特長]



- 「蒸気機関車から新幹線まで」
日本の近代化を牽引した53両の貴重な車両を収蔵

- 「動くSLに乗ってみよう」
蒸気機関車が牽引する「SLスチーム号」体験乗車を実施

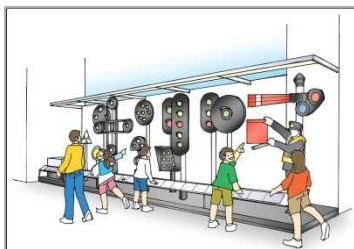
- 「前に来たときとは違う車両が!」
展示車両を入れ換えることができる引込線を館内に設置



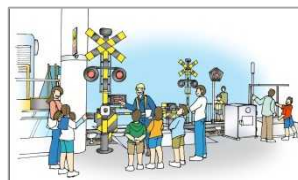
- 「手にとって、動かして体感できる」
体験展示を重視した展示構成



- 「鉄道のしくみに込められた安全の工夫」
鉄道のしくみを通じた安全の取り組みを紹介



- 「鉄道の仕事のヒミツ」
お客様と鉄道で働く社員たちとのふれあいによる鉄道の仕事紹介



京都鉄道博物館 全体概要

[アクセス]



●●●●● 主なルート ㊦ 京都市電保存車両

公式キャラクター



© Kyoto Railway Museum 2015

JR京都線「京都駅」から市バスで「梅小路公園前」下車、徒歩約3分。または徒歩約20分。

JR嵯峨野線「丹波口駅」から徒歩約15分。

京都鉄道博物館には駐車場はありませんので、お車でのご来館はご遠慮ください。

なお、「梅小路公園おもいやり駐車場」は「障がい者、高齢者、乳幼児連れのご家族、妊産婦、怪我人、その他歩行困難な方」の専用駐車場です。

京都鉄道博物館の詳しい情報は

[ホームページ] <http://www.kyotorailwaymuseum.jp>

[公式フェイスブック] <https://ja-jp.facebook.com/kyototeppaku.umekoji>